

電子ジャーナルやデータベースを 学外から利用するには—学認編—

MNS アカウント1つで複数の契約データベースに学外からもアクセスすることができます。

機関認証(Shibboleth)と学認(GakuNin)

データベースや電子ジャーナルを学外から利用する方法として、Shibboleth 認証【学認(GakuNin)】の利用が可能になりました。【学認(GakuNin)】を利用することで以下のようなメリットがあります。

- ・ 事前の手続きやソフトウェアのインストールは不要です。
- ・ データベースごとのアカウント作成は不要です。
- ・ 一度認証を行っておけばブラウザを閉じない限りID・パスワードの再入力不要です。
- ・ スマートフォンやタブレットからも利用可能です。

◆学術認証フェデレーション「学認(GakuNin)」 <<https://www.gakunin.jp/>>

利用可能な対象者とデータベース

■利用対象者

- ・ 専任教職員(名誉教授を含む)
- ・ MNS アカウントを所持している学生全般

■利用可能なデータベースと電子ジャーナル

- ・ 神奈川大学が契約し、学認に参加している出版社が提供するサービスに限られます。
- ・ 利用可能なデータベースは、図書館ホームページのデータベース一覧「利用条件」に「GakuNin」と表示されています。



<学認対応の主なデータベース>

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ・ EBSCOhost | ・ ProQuest |
| ・ 神奈川大学ディスカバリーサービス | ・ ScienceDirect |
| ・ IEL Online (IEEE) | ・ Web of Science |
| ・ MARUZEN ebook Library | ・ Wiley Online |
| ・ NII-REO | ・ ジャパンナレッジ |

<学認対応の主な出版社>

- ・ Royal Society of Chemistry (RSC)
- ・ Springer Nature



※なお、対応データベース・ジャーナルは、条件が整い次第随時更新されます。

◆データベース一覧 <<https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/search/database/list/>>

利用方法

- ・ 学外のパソコン等からデータベースや電子ジャーナルのサイトにアクセスします。
- ・ ログインの選択肢から「学認 (GakuNin)」を選択し、「神奈川大学」を指定します。
- ・ 選択肢の名称は提供元によって異なります。
- ・ OPAC の利用者認証画面からも、「神奈川大学 シボレス認証連携サービス」画面に入ることが可能です。

■ ログイン画面で表示される選択肢の例

- ・ 学認 ・ GakuNin
- ・ シボレス ・ Shibboleth
- ・ Login via institution ・ Institutional Login
- ・ Athens or Shibboleth (Athens のみの場合は不可)

- ・ 「神奈川大学 シボレス認証連携サービス」が表示されたら、MNS アカウントでログインします。
- ・ 一度認証を行えば、ブラウザを閉じない限り ID・パスワードの再入力は不要です。

<注意> GakuNin と記載のないデータベースを学外から利用する場合は、従来どおり VPN 接続をご利用ください。

◆ Shibboleth 認証【学認(GakuNin)】による学外からのデータベース利用

<<https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/search/database/>>